

山下雄平新聞

<発行元>
山下雄平後援会
〒840-0801
佐賀県佐賀市駅前
中央三丁目6-11
TEL:0952-37-8290
FAX:0952-37-8291

得票率6割超で再選

参院選 再び自民最年少

七月二十一日投票の参院議員通常選挙で二期目の当選を果たしました。六年前より得票数は減りましたが、県内の全市町で六割を超える得票率。前回に続き自民党当選者で最年少でした。選挙戦で訴えた「都会から地方への流れをつくる」という政策を前に進めていきます。

投票日は九州北部を中心に大雨となり、鳥栖市など九市町で避難勧告が出されました。各地で冠水や通行止めとなった影響もあり、投票率は前回から十ポイント以上下落しました。そうした中でも選挙事務所には「大雨だったけど、何とか投票に行きました」といった電話を何本



豪雨被害を考え当選の万歳は控えました

もいただきました。一票の重さを改めて感じました。六年前の参院選では私は自民党で全国最年少の三十三歳で初当選しました。それから六年が経ち、三十九歳で二期目の当選となりましたが、

佐賀豪雨対応に奔走

ボランティア活動も

八月二十八日の豪雨は佐賀県各地で大災害となりました。私は油流出被害を受けた大町町をはじめ被災地に張り付き復旧対応に当たりました。佐賀県選出の国会議員で政府に働きかけ、十月十一日には激甚災害に指定されました。

発災当日の八月二十八日は私は小城市牛津町で車が水没しかけ、その日のうちに足を運べない地域が多くありました。大町町に初めて入ったのは翌二十九日。油の湖のようになって

今回の選挙でも当選した自民党参院議員では私が最年少でした。自民党は私以外の三十代の候補は涙を飲みました。それだけではなく、私の次に若い議員(四十歳、秋田)、その次に若い議員

(四十歳、山形)、そのまた次に若い議員(四十二歳、滋賀)もみな落選してしまいました。今回の参院選は自民党全体としては堅調でしたが、私たちのような年の若い、基盤のできていない

議員にとつては非常に厳しい選挙だったと言えると思います。だからこそ、数少ない若手議員として、今後とも未来に責任が果たせる政治に向けて、より一層頑張らなければいけないと思います。

ていた光景は脳裏に焼き付いています。水没した自宅に持病の薬など生活必需品を取りに帰らざるを得ない方もおられました。私も吸着シートを手にお手伝いしましたが、濁った水が膝ぐらいいまでありました。油に浸かった農地では土壌の入れ替えや石灰の散布など、営農再開までには息の長い取り組みが必要で

私はボランティア活動にも参加しました。家屋に埋まった土砂の撤去や、使えなくなった家財道具の搬出などに当たりました。



小城市のボランティアアセンターは、社会福祉協議会と民間団体が共同で運営されています。準公的

な組織の強みと民間の柔軟性が生かされていて、今後はこうした取り組みを他の地域にも広げていくのではないかと感じました。